

既存試料使用に関する配慮に関して

2026年2月19日

国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

2026年2月19日

大阪刀根山医療センター 脳神経内科/リハビリテーション科 井上 貴美子

対象研究名：日本ブレインバンクネット（JBBN）関西拠点の構築

本研究の実施にあたり、既存の検体を新たな同意取得なしで使用します。その際、以下の様に情報を公開します。

当該研究の意義、目的、方法

ブレインバンクとは、ブレイン（=脳）のバンク（=銀行、貯蔵所）を意味しています。骨髄バンクや血液バンクなどと同様に、研究に利用するためにヒトの脳を集めて系統的に保管し必要に応じて利用者に提供するシステムであり、医科学研究を支える基盤システムの一つとして重要な役割を担っています。

ブレインバンクでは、ご遺族から将来研究に利用することの同意を得て、亡くなられた方の脳を収集しています。病理解剖により取り出された脳・神経系を含む組織は、適切な処理が施された後、いくつかの方法により系統的に保存されます。一部の組織を用いて詳細な神経病理学的解析が行われ、病理学的診断が明らかにされます。蓄積された脳組織及び関連して収集された生体組織は将来的に国内外の研究者からの要望に応じて医科学研究に提供され、医学・医療の発展に役立てられます。日本ブレインバンクネット（JBBN）では、国内各地に存在する16のブレインバンクが、国立精神・神経医療研究センター（NCNP）を中心に集結し、共同で活動を行なっています。関西拠点はその一つにあたります。

提供（分譲）する試料・情報の種類及び量、分譲方法

共同研究機関の間で以下の情報のやり取りが行われます。

- (1) リソース計画申請時の申請者の情報（名前、所属機関、連絡先、研究計画）
- (2) バンク・レジストリ構築の際の画像データとそれに付随する情報（患者の性別、死亡時年齢、性別、死後時間、RIN、脳重、罹病期間、臨床診断、内服薬の履歴、検査結果、病理診断、遺伝子診断、検体の部位、病理解析結果）

研究者によるリソース利用申請が適切な倫理審査を受けて承認された場合に、以下の試料を提供することがあり、提供先には海外の研究機関も含まれます。

- (3) 剖検時に採取された脳・脊髄およびその他の組織（血液、一般臓器など）の凍結組織、ホルマリン固定パラフィン包埋切片

対象者の選択基準

2004年4月1日以降に当院で亡くなられ、診断のために遺伝子解析や病理解剖を施行した方

研究期間

実施承認日から2030年3月31日まで

利用する検体（情報）

以下のものを利用いたします。

- ・剖検組織：剖検時に採取され、保存しているもの
- ・臨床情報：年齢、性別、病歴、神経学的所見、検査結果（採血、筋電図）

研究機関名

代表施設： 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部

分担施設：大阪刀根山医療センター

保有する個人情報に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究で保有する個人情報に関して、問い合わせが可能なように、本研究に関する内容、実施者、問い合わせ方法、問い合わせ先、について当院ホームページ内に掲載致します。

個人情報に関する問い合わせや個人情報の訂正、利用停止、第三者への提供の停止を求められた場合には、被験者本人、または代理人であることを確認し、速やかに対応をします。

個人情報の開示、個人情報の利用目的の問い合わせについて

本研究で保有する個人情報に関して、被験者及びその代理人は、個人情報の開示請求や、その利用目的を知ることができます。ただし、第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合や、当該研究にかかる研究者等の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼす恐れがあるとき、他の法令に違反することとなる場合などは例外となります。上記理由にて、個人情報の開示依頼をお断りする際には、その理由を速やかにお伝えいたします。

⑤保有する個人情報に関して、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

問い合わせ先：(代表施設)

国立研究発法人 国立精神・神経医療研究センター臨床検査部内

〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

TEL：042-341-2711

E-mail：jbbnsec@ncnp.go.jp

(当院) 独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター

脳神経内科・リハビリテーション科 井上 貴美子

電話：06-6853-2001 FAX：06-6853-3127 e-mail：410-
chiken@mail.hosp.go.jp